

2022 Calendar



presented by COST Action ChETEC

Y. MOTIZUKI,
仁科センター月例会大会,
March 9, 2022

宇宙核物理を築いた女性研究者たち Women Scientists Who Made Nuclear Astrophysics

Our purpose is to honor, to encourage, and to educate

先人に学び、讃え、後世に伝えるために。

宇宙核物理の発展に尽くした女性研究者たちがいました。

真理の探求を生涯の仕事として選び、輝かしい業績を残した女性たちです。

彼女たちの生き方が、若き女性研究者たちの将来への道標となり、励みになることを願います。

また、女性が科学の発展に重要な役割を果たしてきたこと、

そして今も、その役割を果たし続けていることを広く多くの方々に知っていただきたいと思います。

日本語版翻訳チーム（宇核連）



2022年1月 宇宙核物理連絡協議会
代表 川畑 貴裕 (大阪大学)

<https://www.cns.s.u-tokyo.ac.jp/ukakuren/indexnew.html>

翻訳者（五十音順）

青木和光（国立天文台）石垣美歩（国立天文台）石塚知香子（東京工業大学）
大槻かおり（福岡大学）川越至桜*（東京大学）川畑貴裕（大阪大学）
久保野茂（理化学研究所） 小林千晶（ハートフォードシャー大学）澤田涼（東京大学）
瀬川麻里子（日本原子力研究開発機構）西村俊二（理化学研究所）
西村信哉（理化学研究所） 早川勢也（東京大学）早川岳人（量子科学技術研究開発機構）
望月優子（理化学研究所） 森寛治（福岡大学）山口英斉（東京大学）

- カレンダーアクションはヨーロッパの一人の女性研究者発、2021年版から
- Very Artistic。カレンダー全体が意識的にアートになっている。
- 2022年版：世界21か国語で翻訳、専門分野外にリーチアウト。日本語版、アラビア語版が新たに参加。

著作権上の許諾を得て改訂

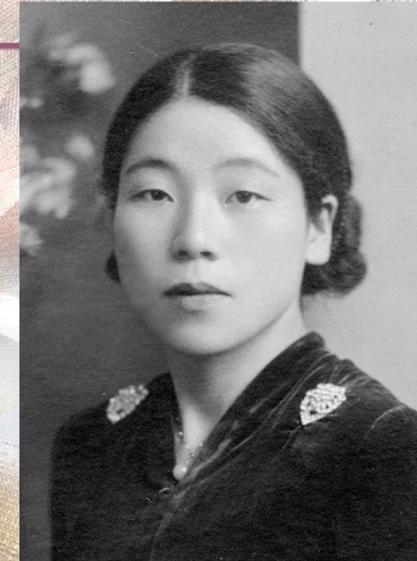
Toshiko Yuasa

1909-1980

湯浅 年子

「科学の根本精神は、広い豊かな愛である。」 - 湯浅年子

湯浅年子は、日本初の女性の原子核物理学者として知られています。年子は、東京文理科大学で原子分光学を学び、1934年に卒業しました。1939年にフランス政府の奨学金を得て、パリへ渡航、フレデリック・ジュリオ=キュリー教授のもとで人工放射能の研究を始めます。1943年、年子は「人工放射性核から放出された β 線連続スペクトルの研究」により、フランス国家理学博士号を授与されました。しかし、すでに第二次世界大戦が勃発しており、日本人の年子は、翌1944年には戦時のパリからの退避を余儀なくされました。退避先のベルリンでは、世界初の二重焦点型 β 線分光器を開発し、終戦直前に日本へ帰国しました。そして、のちのお茶の水女子大学の教授として教育に尽力するとともに、理化学研究所仁科研究室で研究を再開しましたが、敗戦後の日本では、原子核物理の実験は禁止されてしまいました。年子は、フランス国立科学研究センター (CNRS) で研究を続けるため、1949年、再び渡仏します。その後は、研究の幅を β 崩壊から核反応へと広げ、重要な論文を次々と発表しました。また、1956年には、ビキニ環礁での水爆実験と第五福竜丸被爆についての日本の資料を仏訳して雑誌に寄稿するなど、水爆実験の危険性を広く訴えました。お茶の水女子大学では、日仏共同事業「湯浅年子ラボラトリー* (TYL)」の協力を得て、2013年に「湯浅年子賞」を設立し、日本の女性研究者が国内外で活躍することを支援しています。



- The revision in Toshiko's profile in Japanese Calendar will be reflected to the original English text for 2023!

背景画：「時空の織物 - 超新星II」

Y. MOTIZUKI, 仁科センター月例会, March 9, 2022

Distribution Information

- 翻訳者、宇核連関係者から学生、科学館など一般向けに頒布。プレスリリース（朝日新聞電子版など掲載）
- 理研内：理研所属の翻訳者4名連名で理事長、理事、理事長室、ダイバーシティ室に頒布（Thanks to 河林さん！）。来年度の役員の方々にも頒布予定。
- For the Calendar of 21 languages worldwide, please visit:
http://www.chetec.eu/press-outreach/copy_of_calendar
- Japanese (You can request the printed calendar (free!)):
https://www.cns.s.u-tokyo.ac.jp/ukakuren/whatsnew/release_v6.pdf
- 詳しく知りたい方に：Presentation slides by Dr. M. Lugaro and Y. Motizuki available on the UKAKUREN seminar web:
<https://sites.google.com/view/ukakuren-seminar>